

北海道大学シラバス					
■ ■ 科目名					
ウイメンズヘルズ特論					
■ ■ 講義題目					
■ ■ 責任教員（所属）					
蝦名 康彦（大学院保健科学研究院）					
■ ■ 担当教員（所属）					
蝦名 康彦（大学院保健科学研究院）					
■ ■ 科目種別				■ ■ 他学部履修等の可否	
				可	
■ ■ 開講年度		2023	■ ■ 期間		1 学期
				■ ■ 時間割番号	
				086413	
■ ■ 授業形態		講義	■ ■ 単位数		2
				■ ■ 対象年次	
				1～1	
■ ■ 対象学科・クラス				■ ■ 補足事項	
				H26以降入学者用	
■ ■ ナンバリングコード		HLT_MC 6810			
■ ■ 大分類コード		■ ■ 大分類名称			
HLT_MC		保健科学院（修士課程）			
■ ■ レベルコード		■ ■ レベル			
6		大学院（修士・専門職）専門科目（発展的な内容の科目、研究指導科目）			
■ ■ 中分類コード		■ ■ 中分類名称			
8		助産学科目群			
■ ■ 小分類コード		■ ■ 小分類名称			
1		特論・講義			
■ ■ 言語					
日本語で行う授業					
■ ■ 実務経験のある教員等による授業科目					

■ ■ キーワード

ライフサイクル、性ホルモン、月経、妊娠、不妊症、性分化疾患、性感染症、排尿障害、骨盤臓器脱、子宮がん、卵巣がん、HPV、更年期障害、血栓性素因、遺伝性腫瘍、家族計画、プレコンセプションケア

■ ■ 授業の目標

女性の健康、性と生殖に関する健康に関する最新のエビデンスおよび社会的背景を理解する。ウイメンズヘルズケア能力は、マタニティケア能力とならぶ助産師の重要なコア・コンピテンシーである。しかし、本科目では助産師志望者のみならず、看護の基盤としてwomen-centered care(女性を中心としたケア)が実践できるような基本的知識と思考法を学ぶ。

■ ■ 到達目標

1. ライフサイクル各期（思春期、成熟期、更年期、老年期）にある女性の特徴について説明できる。
2. ライフサイクル各期（思春期、成熟期、更年期、老年期）にある健康課題と必要なケアについて説明できる。
3. 上記の知識をもとに、社会的背景や女性個人の状況に応じたケアプランを策定する基礎を習得する。

■ 授業計画

下記のテーマによって、15回の授業を行います。

1. 女性の身体のしくみ/婦人科の診察
2. 女性と性ホルモン/無月経
3. 女性のライフステージと生理・疾患
4. 妊娠の成立と不妊
5. 不育症と生殖免疫
6. 月経異常と月経障害
7. 性分化疾患のケアと治療
8. 性感染症
9. 排尿障害と骨盤臓器脱
10. アップデート婦人科癌（体癌・卵巣癌ほか）
11. HPVと子宮頸がん
12. 更年期と中高年のヘルスケア
13. 産婦人科と血栓性素因
14. 産婦人科と遺伝性腫瘍
15. 生殖補助医療・出生前診断における倫理的課題
16. 家族計画と避妊法

■ 準備学習(予習・復習)等の内容と分量

教科書の該当部分と事前配布のハンドアウトを予習してください。授業後に、レポート作成してもらいます。そして、次回授業の冒頭で、レポート内容を中心にディスカッションを行います。

■ 成績評価の基準と方法

1. 出席率 2 / 3 以上で評価の対象とします。
2. 授業中の状況、提出物、定期試験にて評価します。

■ 有する実務経験と授業への活用

■ 他学部履修の条件

■ テキスト・教科書

[標準産科婦人科学 第5版 / 綾部 琢哉 / 板倉 敦夫編 : 医学書院, 2021, ISBN:978-4-260-04265-](#)

■ 講義指定図書


■ 参照ホームページ

■ 研究室のホームページ

<https://ebinalab.org/>

■ 備考

助産学科目群以外の保健科学院の院生はもちろん、他学部の院生も大歓迎します。女性医学の研究・臨床に直結する幅広い知見が得られます。また毎回のディスカッションを通して、貴重な「気づき」が得られるはずです。対面、オンラインの授業方法については、状況により決定します。

 更新日時

2023/02/17 16:54:01

